

卷之三

別卷二

丸安の争議はイヨイヨ激化した  
累積本位が一ヨク親爺丸安は暴力團で殴り下に金銀業者諸君の生えんが為めの血の  
ジルが切実なる要求をウトベレバがつたのだ。金銀工金労働者諸君一仕事をメテモスハニシテ景氣では親爺小供を喰はせ行くに並  
大條ではなリんだ  
が丸安經業諸君は鐵砲を買悟して自達の為めにはなく金銀工金労働者の階級  
的共通の利益を護り金銀工の生活権を戦々取るため大先づ一ヨクオメケ丸安から  
血祭にあがる決心で奮起したのである。  
丸安の此の争議、經業員側の敗りに在る事は金銀工の工價低下の實を鐵製造業者  
達と共に見らるる所だ。  
金銀工諸君一ニ元以上工價が下がる事鐵工のミシナはオツカアヤ小兒を喰はせる事か  
出来るのか！ニラ木にて見た時鐵工は二万争議を断然勝ち取れた當時  
鐵工せんとする丸安鐵製造業團を救へ！  
金銀工の力で暴力團ヒツコオヤサターメーメー！  
金銀工の力で争議團を勝たせろ！  
團結力で階級的利害を守れ！

一九三〇年九月十二日

丸安製鐵常議會